製品生産事業及び森林環境保全整備事業請負　林分条件調査表

林分調査表（1）

（素材生産請負）	
請負名	南木曽10柿其ヘリ
事業名	育成受光伐
県名	長野県
森林管理署名	南木曽支署
国有林名	柿其
林小班名	92い
伐倒控除有無	無
伐採面積	

生産材積			
作業地点	最終/tc直	山元普通/未利用資源活用	山元全幹/計
92い	650	200	
			850
合計	650	200	
			850

保険料率・林退共掛金		
区分	法定保険料率	適用率％
労災保険	0.05200	100
雇用保険	0.01050	100
健康保険	0.04845	100
厚生年金	0.09150	100
林退共	470	100

製作費・伐木造材，全幹伐倒															歩道作設	伐倒材積
林小班	人天	伐倒方法	樹種	資材本数（本）	資材材積（m3）	功程補正項目 林地傾斜	下層植生	伐採種	伐採率	通勤	歩行	ﾌﾟﾛｾｯｻｰ	その他	生産材積（m3）	延長距離（m）	数量（m3）
92い	人	ヘリ全幹	木曽五木			30上	密	間伐	34	74	18	使用する	1.00		1161.7	
			カラマツ													
			ス　ギ	24	4.36											
			人工林ヒノキ	6,696	1,289.89									800		
			その他N	384	80.64									40		
			その他L	288	50.85									10		
			小計	7,392	1,425.74									850		
			木曽五木													
			カラマツ													
			ス　ギ													
			人工林ヒノキ													
			その他N													
			その他L													
			小計													
			木曽五木													
			カラマツ													
			ス　ギ													
			人工林ヒノキ													
			その他N													
			その他L													
			小計													
			木曽五木													
			カラマツ													
			ス　ギ													
			人工林ヒノキ													
			その他N													
			その他L													
			小計													
			木曽五木													
			カラマツ													
			ス　ギ													
			人工林ヒノキ													
			その他N													
			その他L													
			小計													
計				7,392	1,425.74									850	1162	

運搬費・トラック運材（市場・最終土場）												運搬区分 小運搬		トラック運材（小運搬）											
車種・積込		10t	グラップル付トラック	運搬予定数量				割増料金				車種・積込		10t	グラップル付トラック	運搬予定数量				割増料金			
適用率・碇積		110	YES					冬期割増		悪路割増	地区割増	適用率・碇積		110	YES					冬期割増		悪路割増	地区割増
運搬距離												運搬距離											
作業地点	市場・最終土場	舗装路	砂利道	天然林N	人工林N	広葉樹	計	事業期間	冬期期間	悪路距離	割増金額	作業地点	山元土場	舗装路	砂利道	天然林N	人工林N	広葉樹	計	事業期間	冬期期間	悪路距離	割増金額
92い	野尻土場	10.00	7.10		350		350	5	3														
92い	三殿土場	9.70	7.10		200		200																
92い	坂下土場	20.30	7.10		90	10	100																
計					640	10	650					計											

林分調査表（2）

段目選択	3	搬出費・架線系集材Ⅲ段目							搬出施設費・副作業（架線系集材Ⅲ段目）												
林小班	号線	架線方法	集材距離（m）	横取り距離（m）	1本当り資材（m3/本）	搬出素材材積（m3）	全幹材（内書）（m3）	山元普通（内書）（m3）	スパン（m）	先柱移動	伐開距離（m）	集材機移動（組立）				人工支柱難易	中間支持難易	サポートラインスパン（m）	機械木寄架線使用日数	盤台作設数量	その他
												自力自走		架線利用							
												難易	（m）	号線	（m）						
計																					

段目選択	2	搬出費・架線系集材Ⅱ段目							搬出施設費・副作業（架線系集材Ⅱ段目）												
林小班	号線	架線方法	集材距離（m）	横取り距離（m）	1本当り資材（m3/本）	搬出素材材積（m3）	全幹材（内書）（m3）	山元普通（内書）（m3）	スパン（m）	先柱移動	伐開距離（m）	集材機移動（組立）				人工支柱難易	中間支持難易	サポートラインスパン（m）	機械木寄架線使用日数	盤台作設数量	その他
												自力自走		架線利用							
												難易	（m）	号線	（m）						
計																					

搬出費・架線系集材Ⅰ段目																搬出施設費・副作業（架線系集材Ⅰ段目）					
林小班	号線	架線方法	集材距離（m）	横取り距離（m）	1本当り資材（m3/本）	搬出素材材積（m3）	全幹材（内書）（m3）	山元普通（内書）（m3）	スパン（m）	先柱移動	伐開距離（m）	集材機移動（組立）				人工支柱難易	中間支持難易	サポートラインスパン（m）	機械木寄架線使用日数	盤台作設数量	その他（TY本数）
												自力自走		架線利用							
												難易	（m）	号線	（m）						
計																					

人力木寄、機械木寄									
林小班	号線	工　程	集材距離（m）	林地傾斜（人力）	径級（人力）	1本当り資材材（m3/本）	搬出素材材積（m3）	全幹材（内書）（m3）	山元普通（内書）（m3）
計									

搬出費・プロセッサー造材（架線系集材Ⅰ段目）				
林小班	号線	使用の有無	樹種	1本当り資材材（m3/本）

搬出費・車両系（トラクタ等）集材					使用機械	ウインチ付グラップル		搬出費・（プロセッサ造材・車両系集材）		搬出施設費・副作業（車両系集材）
林小班	号線	集材距離（m）	林地傾斜	林地状況	搬出素材材積（m3）	全幹材（内書）（m3）	山元普通（内書）（m3）	使用の有無	樹種	ﾄﾗｸﾀ道作設延長（m）
計										

山元巻立・最終巻立				
林小班	号線	巻立種類	使用機種	巻立素材材積（m3）
92い	ヘリ	山元普通	グラップル	200
計				200

搬出費・フォワーダ運搬													
林小班	号線	運搬距離（m）	勾配	路面状況	搬出素材材積（m3）	山元普通（内書）（m3）	林小班	号線	運搬距離（m）	勾配	路面状況	搬出素材材積（m3）	山元普通（内書）（m3）
							計						

未利用資源活用（搬出）					
林小班	号線	搬出素材材積（m3）	林小班	号線	搬出素材材積（m3）
				計	

未利用資源活用山元積込				
林小班	号線	積込種類	使用機種	積込素材材積（m3）
計				

事業名: 森林環境保全整備事業(育成受光伐　南木曽10柿其ヘリ)

作業条件表

国有林	林小班	面積	伐採率	樹　種	資　材		利用率	生産量 m^3			下層植生	平均林地	通勤補正	歩行補正	歩道 m		平均標高 m			集材距離 m		伐採から集材までの月数
		ha	%		本数	材積 m^3	%	一般材	同販材	計	密. 中. 疎	傾斜度	時間　分(往復)	時間　分(往復)	新設	修理	伐区	荷卸場	ヘリポート	最短	最長	
柿其	92い	10.00	34	木曽五木							密	30°上	74	18	1,162		1,340	1,270	820	858	1,066	1
				他N	7,104	1,374.49	61%	840		840												
				他L	288	50.85	20%	10		10												
				木曽五木																		
				他N																		
				他L																		
				木曽五木																		
				他N																		
				他L																		
合計		10.00			7,392	1,425.34	60%	850		850												

条件項目	内　容
①大空輸及び小空輸について	単価に最寄りの基地～ヘリポートの空輸費を含める。
②ヘリ機種について	1本吊出来ない高品質材は、集材作業時に山床で半幹等にする事はやむを得ないが、地上作業では、700kgは無理なく吊れることを基準に造材するので、これらを処理できる機種(以下標準機種いう。)により実施することを条件とする。 なお、造材してある材が吊れなっかた場合、標準機種と同等か、それ以上の機種に入れ替え若しくは遅滞なく調達して行うことを条件とする。
③その他	上記以外は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款、製品生産事業中部森林管理局仕様書、製品生産事業請負標準仕様書、入札説明書の添付書類によるほか、監督職員の指示によるものとする。